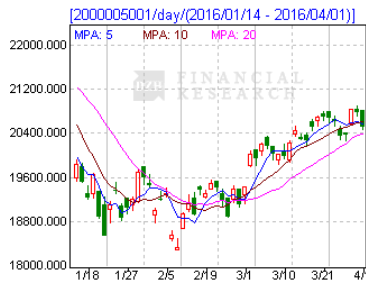




【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



【主要株価指数】

※週間騰落率は過去5営業日の騰落率

	直近値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	15年末株価
NYダウ	17,792.75	107.66	0.61	1.58	2.11	17,425.03
NASDAQ	4,914.54	44.69	0.92	2.95	-1.85	5,007.41
日経225	16,164.16	-594.51	-3.55	-4.93	-15.08	19,033.71
上海総合	3,009.53	5.62	0.19	1.01	-14.97	3,539.18
滬深300 (CSI300)	3,221.90	3.81	0.12	0.75	-13.65	3,731.01
ハンセン	20,498.92	-277.78	-1.34	-0.56	-6.46	21,914.40
H株	8,842.86	-160.39	-1.78	-0.34	-8.47	9,661.03

【株式概況】

先週の動き:ハンセン指数は0.8%高と反発、上海総合指数は1.0%高

ハンセン指数は4日間の取引で0.8%高と反発。米国の早期利上げ観測が浮上する中、イエレン米FEB議長へのハト派的な発言を受けて早期の追加利上げ観測が後退し、買い安心感が広がった。ただ、米雇用統計の発表を前に週末にかけては慎重姿勢が強まり、軟調な展開となった。上海総合指数は1週間で1.0%高と3週続伸。節目の3000ポイントを意識しながらの展開が続いた。29日には一時2900ポイント近くまで下げる場面もあったが、その後は新たな政府系資金の流入観測を背景に堅調に推移した。

今週の展望:香港市場は方向感に乏しい展開か、好悪材料入り交じる

香港市場は4日が清明節の祝日で休場のため4日間の取引。決算発表シーズンが終了したことで焦点はマクロ動向に移るが、好悪材料が入り交じる中で方向感に乏しい展開が予想される。S&Pによる中国と香港の格付け見通しの引き下げや原油相場の急落が懸念される半面、米中の経済指標の改善、米国の早期追加利上げ観測の後退などがポジティブな材料といえる。一方、本土市場も今週は4日間の取引。上海総合指数は節目の3000ポイントを上抜けていくにはやや材料不足で、今週は個別物色中心の展開になりそうだ。

先週のハンセン騰落ランキング

▼値上がり	直近終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 康師傅控股 (00322)	8.47	10.86
2 中国蒙牛乳業 (02319)	12.20	9.71
3 恒安国際集団 (01044)	67.00	7.46
4 招商局国際 (00144)	22.70	4.37
5 シノベック (00386)	5.06	2.85
6 中国旺旺 (00151)	5.63	2.36
7 チャイナ・モバイル (00941)	85.65	2.21
8 華潤電力控股 (00836)	14.14	2.17
9 AIAグループ (01299)	43.15	2.13
10 長江インフラ (01038)	75.80	1.95

▼値下がり	直近終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 中国神華能源 (01088)	11.70	-7.00
2 百麗国際 (01880)	4.39	-6.99
3 華潤置地 (01109)	19.40	-5.60
4 ヘトロチャイナ (00857)	5.07	-5.59
5 レノバグループ (00992)	5.94	-5.56
6 ワーフ (00004)	39.95	-4.65
7 中国人寿保険 (02628)	18.52	-4.14
8 銀河娛樂 (00027)	28.00	-3.61
9 新世界發展 (00017)	7.29	-3.44
10 CNOOC (00883)	8.87	-3.27

▼今週の期待材料

- ◆1日発表の中国の製造業PMIは50.2に改善、8カ月ぶりに景況判断の分かれ目の50台を回復
- ◆3月の米雇用統計はほぼ予想通り、ISM製造業景況指数は昨年7月以来の水準まで回復
- ◆イエレン米FRB議長が利上げに慎重姿勢、ハト派的発言で早期の利上げ観測が後退

▼今週の懸念材料

- ◆S&Pが中国と香港の格付け見通しを「安定的」から「弱含み」に引き下げ、景気の先行き懸念高まる公算
- ◆WTI原油先物相場が先週末に再び1バレル=36米ドル台、急落でリスク回避姿勢強まる可能性も
- ◆大都市の不動産価格高騰で主要都市が不動産購入規制を相次いで導入、河北省廊坊でも規制を導入

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ 中国光大国際 (00257) : 江蘇省新沂市政府から危険物理め立てプロジェクトを受注
- ☆ 中興通訊 (00763) : 6日に15年12月本決算を発表、市場予想は44%の増益
- ☆ 中国建設銀行 (00939) : 会社見通しは16年も増益を確保、配当性向は現状を維持
- ☆ 国泰君安国際 (01788) : 豪シドニー証券取引所などと金融サービス事業で提携
- ☆ チェンミン・ペーパー (01812) : 先進技術企業の認定獲得、法人税率優遇で15%に
- ◇ 首創置業 (02868) : 北京の工業団地開発プロジェクトで共同出資会社を設立
- ★ 中国海外發展 (00688) : 大都市中心に不動産購入規制を導入、不動産販売に逆風
- ★ CNOOC (00883) : 原油相場が再び急落、原油価格下落で業績に逆風
- ★ プラダ (01913) : 8日に16年1月本決算を発表、市場予想は23%の減益
- ★ サンズ・チャイナ (01928) : マカオの3月のカジノ収入は16%減、収入落ち込み続く

▼今週の主なイベント

- 4月4日(月)
- 【中国】清明節で休場
- 【香港】清明節で休場
- 4月5日(火)
- 【米国】ISM非製造業景況指数(3月)

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>
本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。